

パソコンなどのお役立ち情報です！

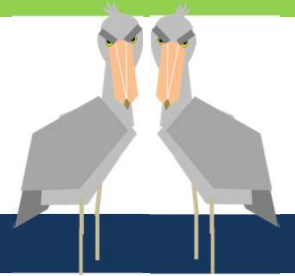


Information Point !

意外と知られていないお得な情報や
今ICT業界で話題になっている事をご紹介します！！

「RAIDとバックアップ」について

分かっているようで分かりづらい「RAID」と「バックアップ」の違いについて簡単にご紹介させていただきます。

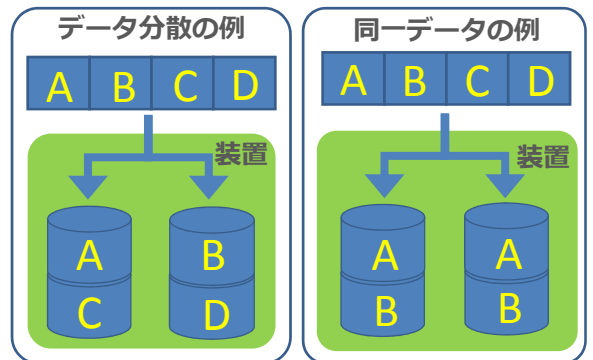


RAID (レイド) とは？

RAIDとは、複数のハードディスク(HDD)を組み合わせて仮想的に1台のHDDの様に見せる技術です。

組み合わせ方により、データを分散させて速度を向上させたり(RAID0)、同じデータを複数のHDDに保存して障害に強くする(RAID1)ことができます。

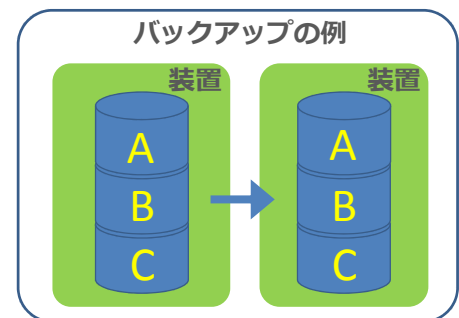
現在、一般的なサーバーやNASなどではこの2つを組み合わせたRAID5やRAID6が主流となっています。



バックアップとは？

バックアップとはデータが格納されているHDDやUSBメモリとは別のHDDやUSBメモリにデータをコピーすることです。

Windows自体にもバックアップの機能はありますが、使いやすさを考えると、メーカー製の外付けHDDなどに付属しているバックアップ用のソフトがオススメです。



どこが違うの？

簡単に違いを説明すると以下のようになります。

	メリット	デメリット
RAID	<ul style="list-style-type: none"> 一部のHDDが故障してもそのまま装置を使い続けられる 書込/読込速度が速い 	<ul style="list-style-type: none"> 誤って上書きや削除などしてしまった場合データを戻す事は出来ない 装置自体が故障してしまった場合はデータを取り出せなくなる
バックアップ	<ul style="list-style-type: none"> 装置が故障しても別の装置でデータを利用できる 誤って上書きや削除などしてしまった場合でもデータを戻す事ができる 	<ul style="list-style-type: none"> バックアップを取る為に時間と手間がかかる 世代管理する場合、どのデータが最新の物が把握していなければならない

アメリカにあるオンラインストレージサービス大手のBackblaze社が自社で使用している数万台のHDDの故障率を公開しており、それによると4年以内に約22%のHDDで不具合が発生したそうです。

この数字を見て高いと思う方も、低いと思う方もいらっしゃると思いますが、

故障発生時のためにデータのバックアップを取っておくことを強くオススメいたします！